

新聞広告データ

入稿ガイド

新聞広告データ入稿ガイド

第1章 広告データの入稿について

使用機器・OS	p2
使用アプリケーション	p2
データの保存フォーマット	p2
画像データの保存フォーマット	p2
入稿データの容量	p2
入稿メディア	p2
入稿にあたっての注意事項	p2
新聞広告の種別	p3
RIPおよび輪転機の設定	p3
広告データの入稿期日の遵守	p3

第2章 Adobe Photoshop

カラー設定	p4
TAC値について	p4
インキの使用量の確認	p4
画像解像度	p5
モノクロ2階調画像	p5
画像補正について	p6
画像データの保存	p7

第3章 Adobe Illustrator

福井新聞の広告サイズ	p8
ドキュメント(書類)の作成	p9
カラー設定の確認	p9
ドキュメント設定の確認	p10
ドキュメントのラスターサイズ効果設定の確認	p10
カラーパレットと使用色について	p11
罫(ケイ)線	p12
線の細さ	p12
フォント(文字)の大きさ	p12
フォント(文字)のアウトライン化	p12
オーバープリント	p12
制作された広告データの点検	p13
透明オブジェクトの確認	p13
入稿データのファイル名表記について	p14
広告データの保存	p14

入稿整理カード……………最終ページ

●『新聞広告データ入稿ガイド』の見方／本ガイドは広告を制作される皆さまに対し、守っていただきたい規則や注意点を制作手順に沿って解説しております。文中の⊗は禁止事項、赤字は禁止もしくは厳守すべきポイント、⚠は注意事項、📄は福井新聞社独自のルールと機器などの説明、緑文字は福井新聞社独自の設定、青文字は参考ページを記しています。

●文言・単位の解釈／文中の「画像処理」と「画像補正」は同義語解釈とし、新聞印刷用に画像の加工や修正、明度・彩度・色相の変更や調整を行う作業工程全般を指します。「プロファイル」は新聞用Japan Color 2002 Newspaperを中心に解説していますが、Adobe Photoshop 梱包のICCプロファイルはこれが全てではありません。また、ICC基準のもの以外にオリジナルプロファイルを作成し適用されている例もあります。ここではそれら全てを称しプロファイルとしています。文中の「広告データ」「RIPデータ」「IllustratorEPSデータ」は同義語とします。文中の「画像データ」「画像ファイル」は同義語とします。「総インキ量」「インキ総使用量」「UCR値」「TAC値」は全て同義語と解釈し、新聞印刷で再現可能な色の限界値を指します。

Macintosh (Mac, macOS)はApple Computer, Inc. (アップルコンピュータ社)の登録商標です。Adobe Photoshop, Adobe Illustrator はAdobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の登録商標です。その他、記載されているブランド名、製品名は個々の所有者の商標、もしくは登録商標です。

- 使用機器・OS**
- Macintosh Mac OS9～Mac OS X
※Windowsは受け付けません。

- 使用アプリケーション**
- Adobe Illustrator 5.5～CS6
※Illustrator以外のアプリケーションで作られたデータは受け付けません。
 - Adobe Photoshop (バージョンは問いません)

-
- データの保存フォーマット**
- Adobe Illustrator…………… Illustrator EPS ファイル形式
※AIファイル形式は受け付けません。
※IllustratorCC以上で制作された広告データはCS6に下位保存してください。
※プレビューはIllustrator5.5～10=「8bit IBM PC」、IllustratorCS～CS3=「TIFF (8-bit カラー)」を選択してください。
※ポストスクリプトのレベルは「レベル2」以上を選択してください。
※適切なファイル名と「.eps」の拡張子をつけてください。拡張子を含め半角31字(全角15字)以内とし、半角カタカナ・半角記号(符号)などは使用しないでください。ただし「_」と「.」は使用可能です。

- 画像データの保存フォーマット**
- Adobe Photoshop…………… Photoshop EPS ファイル形式
※PSDファイル形式(ネイティブ形式)は受け付けません。
※短くわかりやすいファイル名をつけ「.eps」の拡張子をつけてください。
※保存時のエンコーディングは、OSX=「ASCII」または「JPEG-最高画質(低圧縮率)」を選択。OS9=「バイナリ」または「JPEG-最高画質(低圧縮率)」を選択。ただしスポットカラー画像データに関してのみ「JPEG-最高画質(低圧縮率)」のエンコーディングは不可とします。

- 入稿データの容量**
- 400MB以下に限ります。
※圧縮データは受け付けません。
※Illustrator配置後の画像の変倍(拡大縮小)率は120%～80%とします。

- 入稿メディア**
- CD-R (700MB以下、CD-RWも可)
 - DVD-R (4.7GB以下、DVD-RWは不可とします)
※1つのメディアに1広告データを入れてください。メディア内にはIllustratorEPS データ1点と、画像データ(リンク・埋め込みに関わらず)全てを同一階層に収めてください。

- 入稿にあたっての注意事項**
- 入稿の際には①メディア、②最終出力ゲラ、③入稿整理カード(※1)、④入稿伝票(※2)をセットでお持ち込みください。
(※1)入稿整理カードは最終ページに掲載。(※2)入稿伝票は営業担当者が出力します。
 - 必ずウイルスチェックを行ってください。
※入稿されたメディアがウイルスに感染していた場合、入稿をお断りすることもありますのでご了承ください。
 - 入稿データに不具合が発生した場合や処理が不可能な場合は再入稿となります。データの破損や消滅など、不慮のトラブルに備え、必ずバックアップデータの保管をお願いします。

- 新聞広告の種別**
- **モノクロ広告** グレースケールモードを使用してください。
 - **フルカラー広告** CMYK カラーモードを使用してください。
 - **スポットカラー広告** CMYK カラーモードを使用してください。



※「スポットカラー広告」は全て掛け合わせとなります。制作の際は単色部分の配色率が狂わないようにしてください。乱れた配色率のスポットカラー広告は再入稿になります。

RIPおよび輪転機の設定 ● 福井新聞社のシステムおよび輪転機の設定は以下のとおりです。



スクリーン線数 モノクロ=140線 カラー=200線

スクリーン形状 円

スクリーン角度 モノクロ=スミ45° カラー=C15°/M45°/Y0°/K75°

刷り順 ①K版/②C版/③M版/④Y版

※スクリーン角度は時計回りで表記。※モノクロの「スミ」とカラーの「K」は同一インキを使用しています。

RIP=Raster Image Processorの略で、新聞輪転機をはじめとする出力機固有の解像度に合わせてPost Scriptデータを網点化（二値化）する演算装置およびソフトウェアの総称。福井新聞社では、IllustratorEPSデータのみをRIPに通します。

カラープルーフ=カラー広告の再現性などを目視確認するための出力機。カラープルーフは福井新聞の印刷特性を再現するため、輪転のカラープロファイルを忠実に合わせ込んだ出力機です。



福井新聞社営業局ではカラー広告の再現色などを掲載前に確認していただくため「カラープルーフ」出力紙のご利用をおすすめしています。

◎カラープルーフ出力のお申し込みは、福井新聞社営業局業務部 電話 0776(57)5160 番

広告データの入稿期日の遵守 ● 入稿締め切りは必ずお守りください。入稿が遅れますと掲載までの手続きが滞ると同時に、他の広告主にも迷惑をかける場合があります。



通常の広告データ入稿締め切り日時

モノクロ広告 掲載日前日の正午

フルカラー広告 **スポットカラー広告** 掲載日2日前の正午

※上記締め切り日は福井新聞本社必着の日時です。福井新聞各支社および広告会社に入稿される場合は事前に各営業担当者にお問い合わせください。

上記期日にあてはまらないケース

土曜日・日曜日・祝日が入稿締め切り日となる場合は、その直前の平日17:00が締め切り日時となります。

年末年始・お盆・ゴールデンウィークなどは別途ご案内いたします。

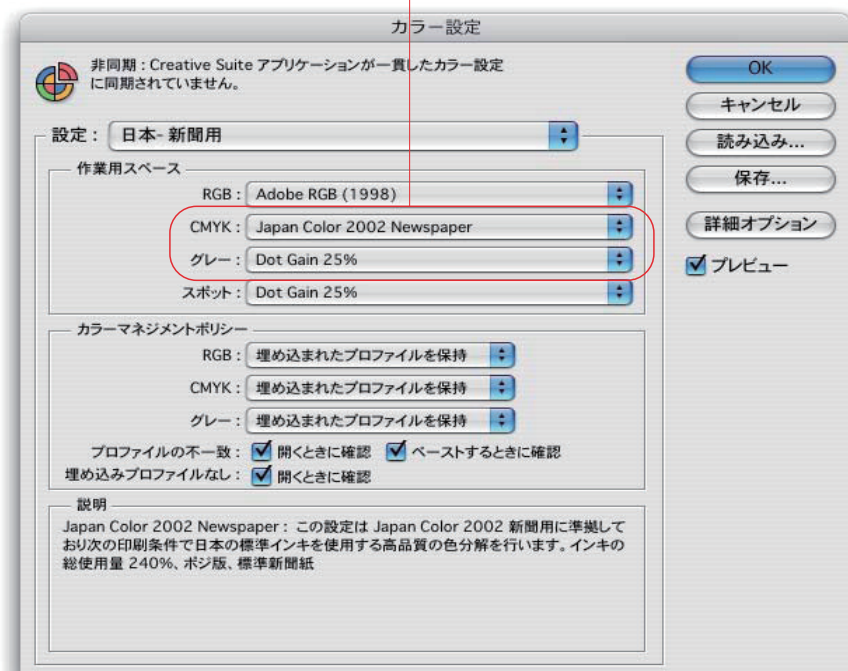
特集号・新年号・オープン企画などは、企画毎に入稿期日が設定されます。

- カラー設定** ● 取得したRGBモード画像をCMYKモードまたはグレースケールモードに変換するためのCMYK変換プロファイルは『Japan Color 2002 Newspaper』を使用してください。グレイ変換プロファイルは『Dot Gain 25%』を使用してください。

Photoshop のカラー設定

▼メニューバー／「編集」→「カラー設定」

- ①「作業用スペース」の「CMYK」から「Japan Color 2002 Newspaper」を選択します。
- ②「作業用スペース」の「グレイ」から「Dot Gain 25%」を選択します。



画像モードの設定

▼メニューバー／「イメージ」→「モード」

フルカラー画像・スポットカラー画像の画像モードは最終的に「CMYK カラーモード」に設定してください。モノクロ画像の画像モードは最終的に「グレースケールモード」に設定してください。

「RGBカラーモード」「Labカラーモード」は選択しないでください。

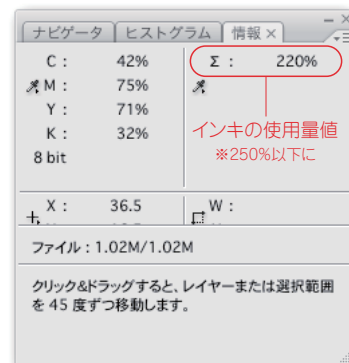
- TAC値について** ● CMYK各色のインキ総使用量値の総称を、これまでの「UCR値」から「TAC値」(Total Area Coverage) と言い換えます。福井新聞の場合「TAC値」は250%に設定されていますので、画像処理の際は**最暗部のインキ量が250%を超えないように**注意してください。仮にこの「TAC値」が高すぎると、インキの盛り過ぎから起こる紙面の汚れや掲載広告に冴えがなくなるなど、満足な結果を得られない場合があります。

- インキの使用量の確認** ● Photoshopの「情報パレット」でCMYK各版の数値が読み取れます。補正する画像の色配分値を見ながら最暗部などが探せ出せます。また「インキの使用量」も読み取れ、画像補正中に随時、数値を確認しながら作業ができます。

情報パレットの設定

▼メニューバー／「ウィンドウ」→「情報」

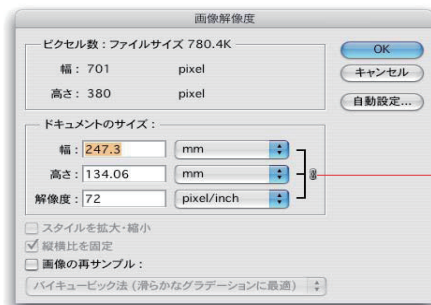
- ①「パレットオプション」→「情報パレットオプション」
- ②「インキの総使用量」モードを選択



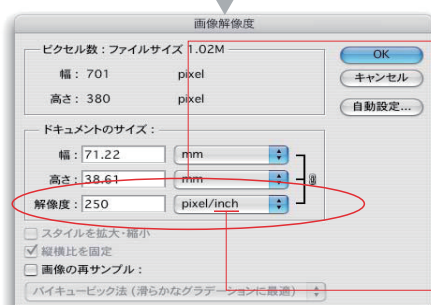
- 画像解像度** ● 取得した画像データが原寸で使用するのに適当な解像度を保持しているかが重要で、最終出力サイズを想定した画像データの取得を心掛け、適切な解像度に設定しましょう。なお、画像データ取得後に解像度の数値を故意に上げても、無駄に容量が重くなるに過ぎず、鮮明になるなどの効果は望めません。

画像解像度の設定

▼メニューバー／「イメージ」→「画像解像度」

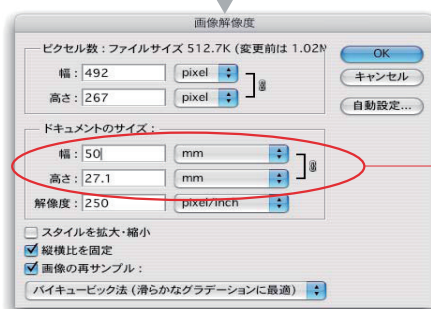


□取得した元画像のサイズ・解像度の情報



□解像度を新聞用に改めます。
※新聞用の画像解像度は350pixel/inchを上限に設定してください。解像度の数値を入力すると連動してサイズの数値も変わります。最終出力サイズを保持しているか確認しましょう。

※画像解像度設定の単位が「pixel/cm」にならないよう注意してください。



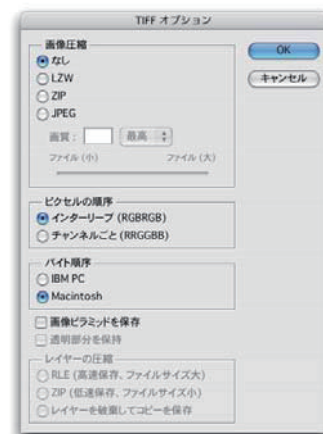
□適切なトリミング処理を施した後、サイズを最終出力サイズに改めます。「解像度」の数値は触りません。

- モノクロ2階調画像** ● QRコードなどに限ります。

マーク・ロゴタイプなどの作成はIllustratorで丁寧にトレースダウンされたアウトラインデータの使用が基本です。曖昧な画像取り込みは再現性確保の観点から責任を負い兼ねます。モノクロ2階調画像を使用する場合の保存形式はTIFFファイル形式とし、画像解像度は1200ppiに設定します。

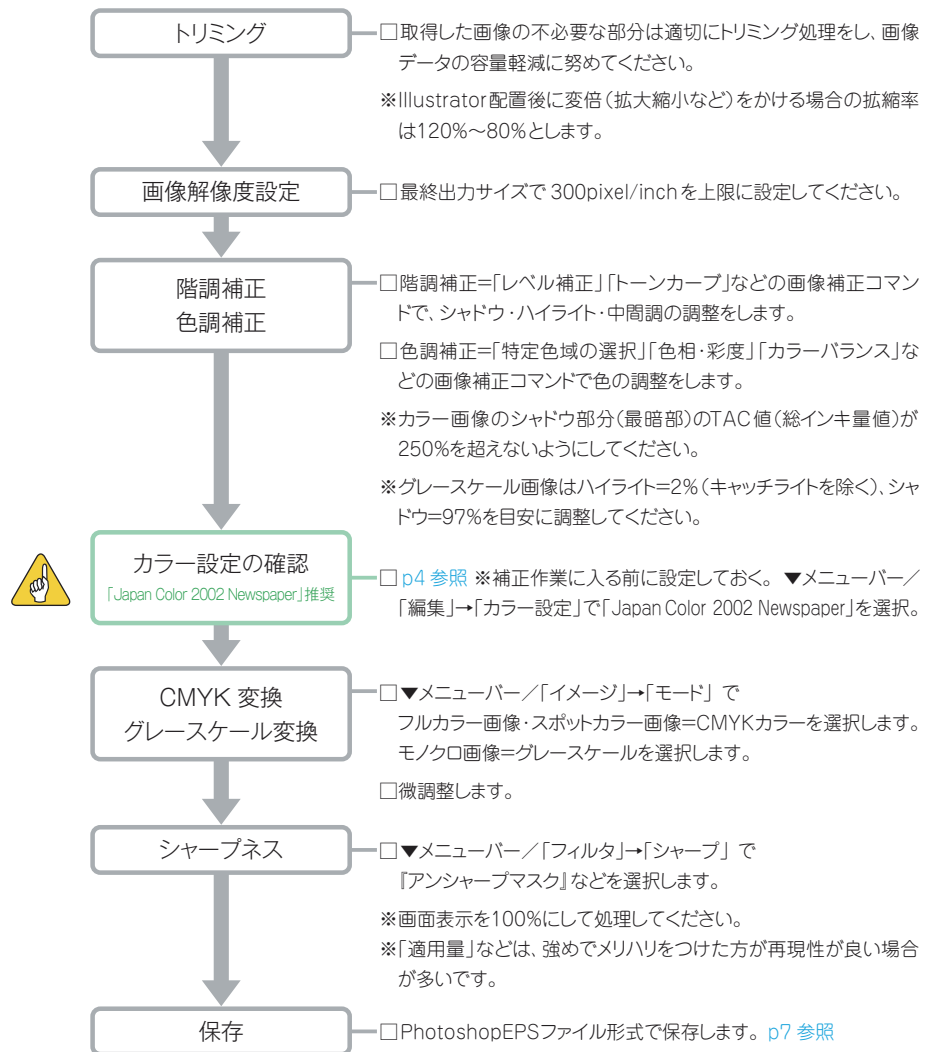
TIFF ファイル形式の保存方法

- ① メニューバー／「ファイル」→「別名で保存」
- ② フォーマット／「TIFF」、カラー／全てのチェックを外す
- ③ 「保存」
- ④ 「TIFF オプション」の内容を右記のとおり設定します。



- 画像補正について**
- 取得した画像を新聞用に補正するポイントは…○比較的明るめに仕上げる ○きれいな画像に仕上げる ○カラーバランスに注意する…などです。
 - ※特にKの数値が極端に低いとコントラスト不足な画像になるので注意が必要です。

基本的な画像補正の流れ



◎取得した画像のTAC値が250%を超えている場合の補正方法【一例】

- カラー設定 ▼メニューバー/「編集」→「カラー設定」で「Japan Color 2002 Newspaper」に設定後、取得画像を開き補正作業に入ると、TAC値の制限がかかった状態から作業ができます。

◎取得した画像のRGBデータがない場合の補正方法【一例】

- カラー設定 ▼メニューバー/「編集」→「カラー設定」で「Japan Color 2002 Newspaper」に設定後、「CMYK」モード→「RGB」モード→「CMYK」モードに変換すると、TAC値の制限がかかります。

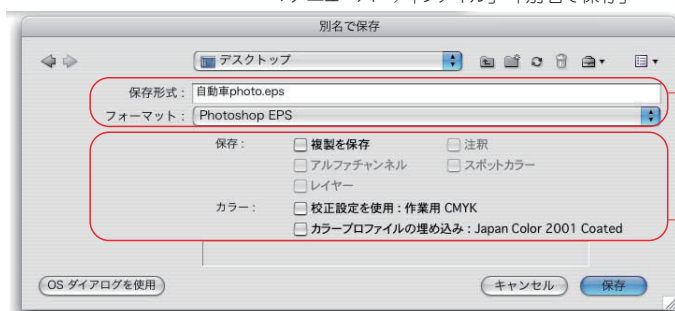
※上記手順はあくまで基本的な画像補正方法の一例で、ご自身の作業に合った補正方法で結構です。

※「Japan Color 2002 Newspaper」はPhotoshopに梱包されているICCプロファイルのひとつで、新聞印刷に適したプロファイルですが、ICCプロファイルはこれが全てではありません。ご自身の作業に合ったプロファイルをご使用になって結構です。

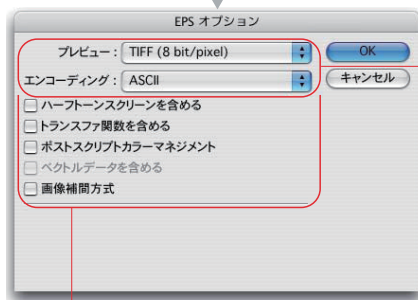
- 画像データの保存** ● 処理が終了した画像データは、メニューバー/「ファイル」→「別名で保存」を選択します。名称変更をしなくても「別名で保存」を選択し、画像の置き換えをすることで、常に最終の環境にデータが保存されます。
- ファイル形式はグレースケール画像・CMYK 画像ともに「PhotoshopEPS」形式です。

「別名で保存」ダイアログ

▼メニューバー/「ファイル」→「別名で保存」



- 「保存形式」のファイル名は半角31字以内。末尾に「.eps」の拡張子をつけてください。
- 「フォーマット」は「PhotoshopEPS」ファイル形式。
- 「保存」「カラー」のチェックは全て外してください。



- 「プレビュー」は「TIFF(8bit/pixel)」
※Photoshop7 以下は「Macintosh (8bit/pixels)」
- 「エンコーディング」は
 OSX=「ASCII」または「JPEG-最高画質(低圧縮率)」を選択してください。
 OS9=「バイナリ」または「JPEG-最高画質(低圧縮率)」を選択してください。

⊗ ただしスポットカラー画像データに関してのみ「JPEG-最高画質(低圧縮率)」のエンコーディングは不可とします。

※掛け合わせスポットカラーで背景画像を作成する際は、不要な版を白で塗りつぶした後の保存形式に注意してください。EPSオプションのエンコーディングで「JPEG」を選択すると、不要な版に1～2%のごりが発生します。エンコーディングを「ASCII」にするか、TIFFファイル形式で保存してください。

全てのチェックを外してください。

ブランケット版【記事下】					
左 右		天 地			
通し	382	15段	513	7段	238
2分の1	190	14段	479	6段	203
3分の1	126	13段	444	5段	169
4分の1	94	12段	410	4段	135
5分の1	75	11段	375	3段	100
6分の1	62	10段	341	2段	66
8分の1	46	9段	306	1段	32
		8段	272		

ブランケット版【突き出し】			
15段組	左右×天地	12段組	左右×天地
3.6×2段	36 × 66	3.6×新2段	36 × 83
5.6×2段	56 × 66	5.6×新2段	56 × 83
7.2×2段	72 × 66	5.6×新3段	56 × 126
10.3×2段	103 × 66	7.2×新2段	72 × 83
5.6×3段	56 × 100	7.2×新3段	72 × 126
5.6×1面3段	56 × 108	10.3×新2段	103 × 83
7.2×3段	72 × 100		

※TV面突き出しは7.2cmまでです。

ブランケット版【記事中】			
15段組	左右×天地	12段組	左右×天地
3.5×1段	35 × 32	3.6×新1段	36 × 40
7×1段	70 × 32	7×新1段	70 × 40
7×2段	70 × 66	7×新2段	70 × 83
記事挟み	10 × 32	新 記事挟み	12 × 40

タブロイド版【記事下】					
左 右		天 地			
通し	238	11段	375	7段	238
2分の1	118	10段	341	6段	203
3分の1	78	9段	306	5段	169
4分の1	58	8段	272	4段	135
				3段	100
				2段	66
				1段	32

タブロイド二連版【完全見開き】	
左右	513

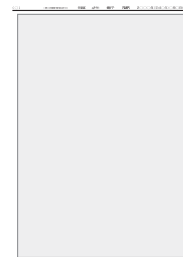
ブランケット二連版【完全見開き】	
左右	788

ブランケット版【雑報】	
	左右×天地
題 字 下	80 × 32
T V サイド	43 × 135
T V 番組中	73 × 22
番組 挟み	37 × 10
ま ん が 下	53 × 169
お く や み 中	19 × 76
空 席 情 報 下	62 × 17
く ら し 中	56 × 83

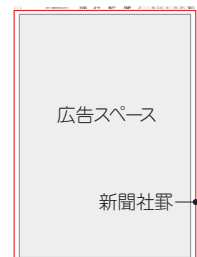
ブランケット版【定置もの】	
	左右×天地
商工欄	60 × 100

ブランケット版【ぶりん】	
	左右×天地
ぶりんサイド	90 × 110
ぶりん中	42 × 110
写真(大)	42 × 43
写真(小)	42 × 28

新聞社罫を巻かない置き方
通常



新聞社罫を巻く置き方



□ブランケット版、タブロイド版の全面・二連版広告の掲載にあたり、新聞社罫を必要とするか否かを入稿整理カードに明記してください。

- ※入稿整理カードに記入が無い場合は通常の面割り付けといたします。(上図参照)
- ※新聞社の判断で新聞社罫を巻く場合があります。
- ※全面広告とはブランケット版15段通し、タブロイド版11段通しのことです。
- ※モノクロ広告・フルカラー広告・スポットカラー広告ともに同一サイズです。

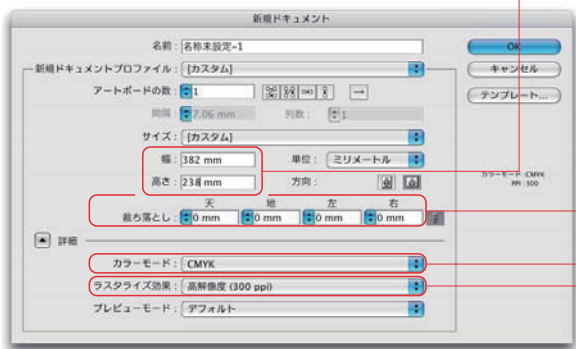


新規ドキュメント作成の際には、品質劣化を防ぐため、設定確認を行ってください。

ドキュメント(書類)の作成 ● 新規ドキュメントのサイズをアートボードサイズにするなど、以下のように設定してください。

新規ドキュメントを作成

▼メニューバー / 「ファイル」→「新規」→「新規ドキュメント」



原稿サイズを「アートボードサイズ」として設定します(下図参照)。

「裁ち落とし」は天地左右ともに0mmに設定します。
※【CS3、CS2】には設定項目がありません。

「カラーモード」を「CMYK」に設定します。
※【CS3～6】には設定項目がありません。▼メニューバー / 「効果」→「ドキュメントのラスター効果設定」から設定します (p10参照)。

「ラスター効果」を「高解像度(300ppi)」に設定します。
※【CS2】は効果メニューから設定します。▼メニューバー / 「効果」→「ドキュメントのラスター効果設定」で設定します (p10参照)。

原稿サイズを「アートボードサイズ」として設定



既存ドキュメントの確認方法

※既存ドキュメントが「RGBカラー」の場合、そのまま「CMYKカラー」に変更すると、埋め込み画像やオブジェクトの色味が変わりますので確認が必要です。設定が違っていた場合は、埋め込み画像は再配置を、RGBオブジェクトはCMYKカラーに変換してください。

【CS6～CS2】

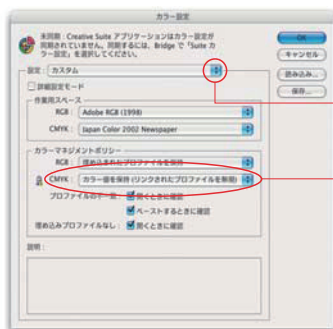
▼メニューバー / 「ファイル」→「ドキュメントのカラーモード」で「CMYKカラー」に設定されているかを確認します。

【CS～9】

▼メニューバー / 「ファイル」→「書類のカラーモード」で「CMYKカラー」に設定されているかを確認します。

【8】設定はありません。

カラー設定の確認 ● 新規ドキュメントの作成後、「カラー設定」ダイアログを開き、下図のように設定してください。



【CS6～CS2】

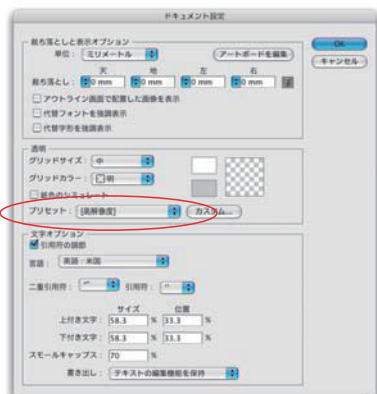
▼メニューバー / 「編集」→「カラー設定」
※「設定」のタブで「Adobe Illustrator 5.5をエミュレート」は使用しません。

※「カラーマネジメントポリシー」のCMYKは「カラー値を保持(リンクされたプロファイルを無視)」を選択。

【8】

▼メニューバー / 「ファイル」→「カラー設定」

ドキュメント設定の確認



●ドキュメントの「透明」設定の確認です。『高解像度』に設定します。

※透明の分割・統合プリセット(書き出しとクリップボードにおける分割・統合)は、透明処理されたオブジェクトを正常に再現するための設定です。

※新規ドキュメントを作成するとき、この設定はデフォルトになっています。

【CS6～CS4】

▼メニューバー／「ファイル」→「ドキュメント設定」内「透明」→「プリセット」→「高解像度」

【CS3～CS】

▼メニューバー／「ファイル」→「ドキュメント設定」(CSは「書類設定」)内「透明」→「書き出しとクリップボードにおける分割・統合」→「プリセット」(CS2・CSは「設定」)→「高解像度」

【10】

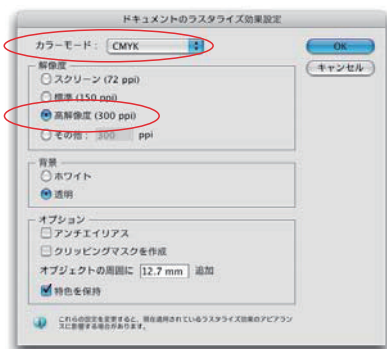
▼メニューバー／「ファイル」→「書類設定」内「透明」→「分割設定」→「ラスターサイズ/ベクトル設定」内、スライダを一番右に設定します。

【9】

▼メニューバー／「ファイル」→「書類設定」→「プリント・データ書き出し」内「画質 / 速度」内、スライダを一番右に設定します。

【8】 設定はありません。

ドキュメントのラスター効果設定の確認



●ドキュメントの「効果」設定の確認です。『カラーモード』と『解像度』の設定を下記のとおりに行います。

※効果メニューなどで処理されたオブジェクトを正常に再現するための設定です。

※制作途中での設定変更は正常に再現されない場合があります。

【CS6～CS2】

▼メニューバー／「効果」→「ドキュメントのラスター効果設定」(※1)

【CS】

▼メニューバー／「効果」→「書類のラスター効果設定」

【10】

▼メニューバー／「効果」→「書類のラスター効果設定」

【9】

▼メニューバー／「効果」→「ラスターサイズ」→「ラスター効果設定」

【8】 設定はありません。

カラーモードの設定

- フルカラー広告……………『CMYK』を選択
- スポットカラー広告……………『CMYK』を選択
- モノクロ広告……………『グレースケール』を選択

解像度の設定

『高解像度 (300ppi)』を選択

(※1) CS6～CS4では「新規ドキュメント」ダイアログ内でも設定されます(p9参照)。再度確認しましょう。

カラーパレットと使用色について ● 制作する広告の種別に合わせて、カラーパレットを新規書類作成時から使用してください。

モノクロ広告

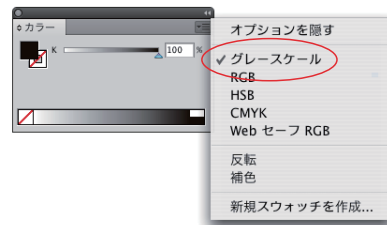
グレースケールパレットを使用してください。



モノクロ広告の注意点

※モノクロ広告のシミベタ (K100%) が目視で広告スペースの3分の1を超えないようにしてください。表現上必要な場合は K80% 以下の階調を採用してください。

▼メニューバー/「ウィンドウ」→「カラー」



フルカラー広告

CMYKパレットを使用してください。



フルカラー広告の注意点

※使用色全てのインキ量 (TAC値) が250%を超えないようにしてください (右図参照)。

※カスタムカラーパレットを使用した場合はCMYK変換してください (右下図参照)。カスタムカラーモードのままでは不具合となる場合があります。

▼メニューバー/「ウィンドウ」→「カラー」



スポットカラー (単色) 広告

CMYKパレットを使用してください。

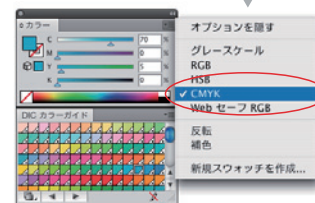
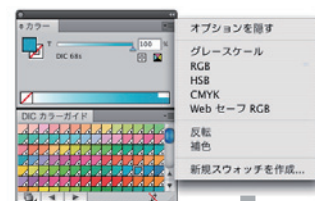


スポットカラー広告の注意点

※Kと1有彩色の掛け合わせで制作してください。

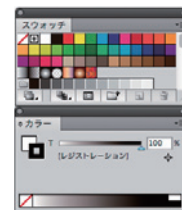
※K以外の色の階調はすべて同比率で作られていることが鉄則です。カラートーン (色調) の乱れたスポットカラー広告はフルカラー広告と判定されます。

※カスタムカラーパレットを使用した場合はCMYK変換してください (右図参照)。カスタムカラーモードのままでは不具合となる場合があります。



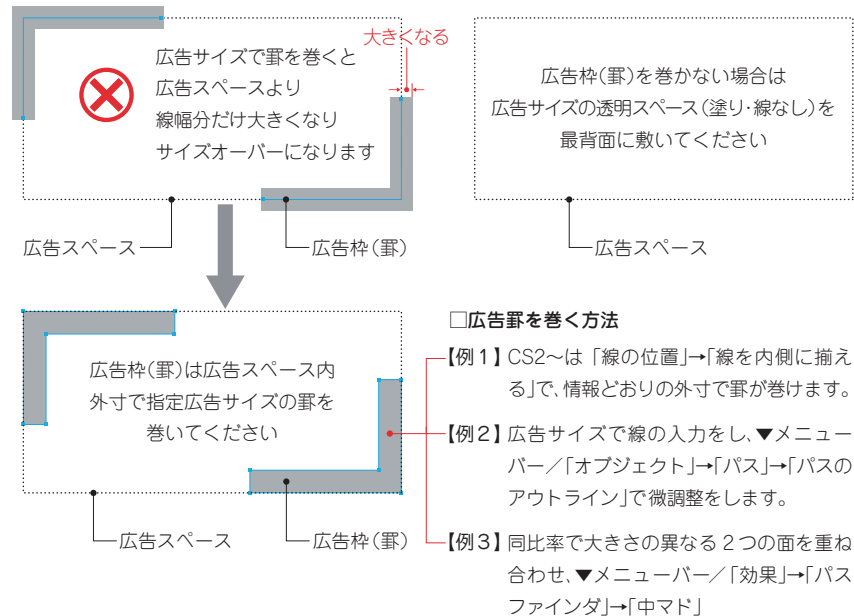
レジストレーションは使用しないでください。

※スウォッチパネルの「レジストレーション」を使用すると、CMYK各版全てに色が入ります。新聞広告の制作では不要ですので使用しないでください。



◎福井新聞社ではCMYK各色のインキ総使用量値の総称を、これまでの「UCR値」から「TAC値 (Total Area Coverage)」と言い換えます。福井新聞の場合「TAC値」は250%に設定されていますので、総インキ量値が250%を超えないようにしてください。「TAC値」が高すぎると、インキの盛り過ぎから起こる紙面の汚れや掲載広告に冴えがなくなるなど、満足な結果を得られない場合があります。

- **罫(ケイ)線** ● Illustratorで広告に罫線を巻く場合、情報パレット上に表示される外寸より、実際のデータは線幅分だけ大きくなっていますので注意してください。下図のような処理を施し、広告サイズに忠実なレイアウトデータの制作をお願いします。 [広告サイズはP8参照](#)



- **線の細さ** ● 黒細線=0.09mm(0.25pt) 以上
- 白細線=0.15mm(0.43pt) 以上
- ※ただし、バックに入る図柄などにより異なります。

- **フォント(文字)の大きさ** ● 黒文字・白文字ともに、ゴシック系の書体で 1.5mm(4.25pt/6Q) 以上が適当です。
- ※ただし、バックに入る図柄などにより異なります。使用された文字は掲載紙上で判読可能なことが前提です。適切な大きさを選定してください。

- **フォント(文字)のアウトライン化** ● フォントは必ずアウトライン処理を施してください。

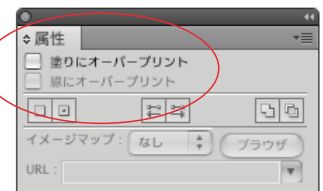
※アウトライン化されずに入稿されたデータは不具合データとして再入稿となります。
※オープンタイプフォント使用でもアウトライン化してください。

- **オーバープリント** ● 福井新聞社のシステムでは紙面に反映されません。

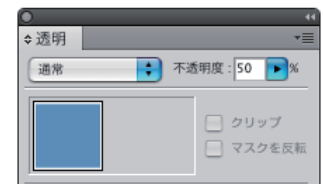
「属性」ダイアログの「塗り(線)にオーバープリント」のチェックは入れないでください。

※オーバープリントの「ノセ」表現の代わりに、透明機能を用いた表現は可能です。「透明」ダイアログ内の「乗算」などを採用するか(右下図参照)、Photoshopで作成し、画像データとして配置(埋め込み)処理したものを採用してください。

▼メニューバー／「ウィンドウ」→「属性」



▼メニューバー／「ウィンドウ」→「透明」



制作された広告データの点検 ● Illustrator EPSデータを入稿メディアに保存する前に、下記の要点を中心にチェックしてください。これらが未処理のまま入稿されたデータは不具合とみなされ、再入稿となります。



8月23日 福井新聞掲載 全7段 最終稿

トンボは不要です。

データ上の注釈などは不要です。

使用フォントは全てアウトライン処理をしてください。



④ 広告罫はパスのアウトライン処理などを行い、広告サイズを厳守してください。

リンク画像が広告スペースからはみ出している場合は広告スペース内でマスク処理を施してください。

枠外オブジェクトの削除

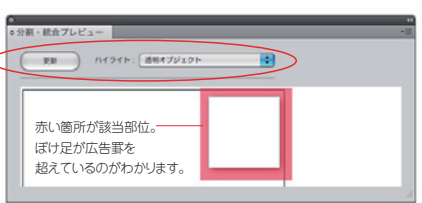
「透明」処理などを施したオブジェクトが画像に重なっている場合は画像の「埋め込み」を行ってください。

テキスト孤立点の削除
パス孤立点の削除

透明オブジェクトの確認 ● サイズエラーを防ぐため「分割・統合プレビュー」で透明オブジェクトの確認ができます。



※効果メニューの「ドロップシャドウ」や「ぼかし」などの機能には「透明」が含まれています。「透明」の範囲が入稿データの外側にはみ出していると、サイズオーバーになります。「分割・統合プレビュー」で透明の影響を受ける範囲をご確認ください(右図参照)。



透明オブジェクトの確認方法

【CS6～CS】▼メニューバー／「ウィンドウ」→「分割・統合プレビュー」ダイアログ内「更新」をクリック。「ハイライト」→「透明オブジェクト」を選択します。

【10】 Macのアプリケーションフォルダから「Adobe Illustrator 10」→「ユーティリティ」→「分割プレビュー」にある「分割プレビュープラグイン」を「プラグイン」フォルダに移します。

【9, 8】 機能がありません。

※上記方法以外にも、効果を適用したオブジェクトを▼メニューバー／「オブジェクト」→「ラスタライズ」で確認することができます。

※透明オブジェクトが広告スペースからはみ出している場合は広告スペース内でマスク処理を施してください。

入稿データのファイル名表記について

- 入稿メディアに保存するIllustratorEPSデータは、以下の要領で適切なファイル名をつけてください。※同じ広告主の広告が2つ以上同日掲載される場合は、何らかの区別をつけてください。

【例】 0823_福井新聞社FC.eps

0823_福井新聞社FC.eps

掲載月日 アンダーバー 広告主名 種別 拡張子

8月23日付の表記。10月7日付の場合、「1007」と表記します。

に限り。広告主名が長い場合は、判別できる程度に短略化してください。

フルカラー……FC
スポットカラー SC
モノクロ……MONO

拡張子のないデータはRIPしません。

※ファイル名は拡張子を含め半角31字以内(全角15字以内)とし、半角カタカナ・半角記号(符号)などは使用しないでください。ただし[_]と[.]は使用可能です。

広告データの保存

- 最終のIllustratorEPSデータを入稿メディアに以下の要領で保存します。

※AIファイル形式での入稿は受け付けていません。

▼メニューバー/「ファイル」→「保存」または「別名で保存」

別名で保存

名前: 0823_福井新聞社.eps

場所: デスクトップ

フォーマット: Illustrator EPS (eps)

各アートボードごと すべて 範囲: 1

キャンセル 保存

「名称」
適切なファイル名をつけてください(上記参照)。

「フォーマット」
IllustratorEPSファイル形式に限り。ます。

EPS オプション

バージョン: Illustrator CS3 EPS

プレビュー
形式: TIFF (8-bit カラー)

透明
オーバープリント: 保持

プリセット: カスタム

フォント
 他のアプリケーション用にフォントを埋め込む

オプション
 配置した画像を含む
 サムネールを作成
 CMYK PostScript を RGB ファイルに含む
 コンバチブルグラデーション & グラデーションメッシュアップリント
 プリンタの初期設定値を使用
Adobe PostScript: レベル2

警告

「バージョン」
IllustratorCC以上で作られた広告データはCS6に下位保存してください。
※IllustratorCS3以下で作られた広告データは制作バージョンで保存してください。

「プレビュー」:「形式」
TIFF(8-bit カラー)を選択してください。
※Illustrator5.5~9は「8-bitIBM PC」を選択してください。

「オプション」
左記のとおりチェックを入れます。
※リンク画像がない場合、「配置した画像を含む」にチェックは入りません。
※Adobe PostScriptは「レベル2」以上に設定してください。

「オーバープリント」は反映しません。(グレーアウトしています)

※1つのメディアに1広告データを入れてください。メディア内にはIllustratorEPSデータ1点と全ての画像データ(リンク・埋め込みに関わらず)を同一階層に収めてください。

※ウイルスチェックを行ってください。 ※バックアップデータの保管をお願いします。

※入稿整理カードにご記入ください。(入稿整理カードは最終ページに掲載)

広告データ 入稿整理カード

福井新聞社 広告データ 入稿整理カード

広告主名			ファイル名	<input type="checkbox"/> .eps <input type="checkbox"/> .pdf	
広告会社名	TEL	担当者	入稿メディア	<input type="checkbox"/> CD-R <input type="checkbox"/> DVD-R <input type="checkbox"/> MO	
	休日・緊急用 携帯電話番号		制作ver.	Illustrator ()	
制作会社名	TEL	担当者	eps保存ver.	() ※CS6以下で保存	
			画像点数	点	
掲載日	年 月 日 () 曜日		データ容量	MB	
広告サイズ	段 × cm	<input type="checkbox"/> 企画枠 (企画名を備考欄に記入)	備考ほか	特記事項	
	全15段・全30段広告の新聞社罫(ケイ)は <input type="checkbox"/> 新聞社罫が必要 <input type="checkbox"/> 新聞社罫は不要				
色種別	<input type="checkbox"/> モノクロ <input type="checkbox"/> フルカラー <input type="checkbox"/> 掛け合わせスポットカラー				
使用版	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> M <input type="checkbox"/> Y <input type="checkbox"/> K				



福井新聞社 広告データ 入稿整理カード

広告主名			ファイル名	<input type="checkbox"/> .eps <input type="checkbox"/> .pdf	
広告会社名	TEL	担当者	入稿メディア	<input type="checkbox"/> CD-R <input type="checkbox"/> DVD-R <input type="checkbox"/> MO	
	休日・緊急用 携帯電話番号		制作ver.	Illustrator ()	
制作会社名	TEL	担当者	eps保存ver.	() ※CS6以下で保存	
			画像点数	点	
掲載日	年 月 日 () 曜日		データ容量	MB	
広告サイズ	段 × cm	<input type="checkbox"/> 企画枠 (企画名を備考欄に記入)	備考ほか	特記事項	
	全15段・全30段広告の新聞社罫(ケイ)は <input type="checkbox"/> 新聞社罫が必要 <input type="checkbox"/> 新聞社罫は不要				
色種別	<input type="checkbox"/> モノクロ <input type="checkbox"/> フルカラー <input type="checkbox"/> 掛け合わせスポットカラー				
使用版	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> M <input type="checkbox"/> Y <input type="checkbox"/> K				

